

(オプトアウト)

米沢市立病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	COVID19 感染下における当院外科の手術の変化および悪性腫瘍手術の変化についての検討
該当者	2015年4月から2021年9月末迄に当院外科で手術を施行された患者様 および同時期に胃・大腸病変に対して当院消化器内科で内視鏡治療(内視鏡的粘膜切除(EMR)・内視鏡的粘膜下層剥離(ESD))を施行された患者様
当院の研究責任者	米沢市立病院 外科 千葉 裕仁
研究代表者	米沢市立病院 外科 千葉 裕仁、研修医 伊勢元晴
本研究の目的	COVID-19 感染拡大に伴い全国的に自粛生活が続くなか、医療機関への受診やがん検診を控える方も少なくないと思われます。山形県でも COVID-19 感染者が確認され始めた 2020 年 4 月から 2021 年 3 月の手術件数および術式等の変化、特に悪性腫瘍について手術内容・内視鏡治療および手術件数や進行度が例年と比べてどのように変化したか調査したいと考えています。さらに 2021 年 4 月から 8 月までのデータとも比較したいと考えています。
実施予定期間	2015 年 4 月から 2021 年 9 月まで(過去のデータを用いた研究です)

研究の方法	<p>上記患者様の来院時の電子カルテの記録より、年齢・性別・基礎疾患や常用薬等の背景データ、来院時の症状や検診による発見の有無、検査所見（血液検査、内視鏡所見、画像所見、病理組織検査結果等）、手術内容（術式、手術情報）、転帰（合併症の有無、退院時および退院後の状態など）についての情報を抽出します。それらの情報を用いて統計学的な解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>電子カルテから上記情報を抽出します。</p>
外部への試料・情報の提供・公表	<p>外部への個々人の試料・情報の提供・公表はありません。</p> <p>学会発表や論文投稿の際には全体データでの掲載となりますので、個人が特定されるような事はありません。</p>
個人情報の取扱い	<p>利用する情報から、氏名や住所等の個人を直接特定出来る情報は全て削除および匿名化します。</p>
利益相反	<p>本研究に関し開示すべき利益相反はありません。</p>
お問合せ先	<p>米沢市立病院 0238-22-2450（代表）外科 千葉 裕仁</p>